

(様式3)

会議の開催結果について

1 会議名	第36回河内長野市地域公共交通会議
2 開催日時	平成29年6月28日(水) 午後3時
3 開催場所	河内長野市役所802会議室
4 会議の概要	(1) 河内長野市地域公共交通会議副会長及び監事の指名について (2) 河内長野市地域公共交通会議について (3) 「平成28年度各コミュニティバス等(モックルコミュニティバス、日野・滝畑コミュニティバス、楠ヶ丘地域乗合タクシー)」の利用状況について (4) 平成30年度生活交通確保維持改善計画(フィーダー)認定申請 (5) その他
5 公開・非公開の別 (理由)	公開
6 傍聴人数	1名
7 問い合わせ先	(担当課名) 都市づくり部 都市創生課 交通政策係 (内線540、541)
8 その他	

*同一の会議が1週間以内に複数回開催された場合は、まとめて記入できるものとする。

第36回 河内長野市地域公共交通会議録

会議名称	第36回河内長野市地域公共交通会議
開催日時	平成29年6月28日(水) 午後3時～
開催場所	河内長野市役所 802会議室
公開・非公開の別 (非公開とした 場合はその理由)	公開
傍聴者	1人
出席委員	別紙出席者名簿のとおり
会議次第	<ul style="list-style-type: none"> ・委嘱状交付 ・河内長野市長挨拶 ・委員等の紹介 ・河内長野市地域公共交通会議会長挨拶 <p>議題</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 河内長野市地域公共交通会議副会長及び監事の指名について (2) 河内長野市地域公共交通会議について (3) 「平成28年度各コミュニティバス等(モックルコミュニティバス、日野・滝畑コミュニティバス、楠ヶ丘地域乗合タクシー)」の利用状況について (4) 平成30年度生活交通確保維持改善計画(フィーダー)認定申請 (5) その他
会議内容	別紙会議内容のとおり

第36回 河内長野市地域公共交通会議内容

発言者	内容（要旨）
	第36回河内長野市地域公共交通会議開会の案内
島田市長	（島田市長より委嘱状の交付）
島田市長	（島田市長、挨拶）
事務局	（事務局より委員、事務局職員の紹介）
榊井会長	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 今年度は市の基本方針となる「公共交通のあり方」とその実施計画となる「地域公共交通網形成計画」の改訂を予定している。今後は、まちづくりや観光等への連携、面的な交通ネットワークの更なる構築が求められているため、今年度からは鉄道事業者にも参画頂いている。本日お集まりの委員の皆様と、様々な視点で議論し、本市にとってより良い公共交通のあり方を検討していきたいと考えている。
榊井会長	<p style="text-align: center;">【議題1】河内長野市地域公共交通会議副会長及び監事の指名について</p> <ul style="list-style-type: none"> ➤ 副会長に日野委員、監事に林委員、甲斐委員を指名させていただきたい。 ➤ 審議の結果、承認を得る。 <p style="text-align: center;">（各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり）</p>
日野副会長	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 公共交通の課題に関して、昨今、様々な自治体で解決に向けて挑戦しているが、中々どこも上手くいっていない。その中で、河内長野市の事例紹介が色んなところで見られる。今後も河内長野市が参考となるようにして貰いたい。公共交通に関する課題が解決している状態ではない。積極的に、情報を提供していきたいと思っている。
林監事	<ul style="list-style-type: none"> ➤ よろしくお願ひします。
甲斐監事	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 楠ヶ丘自治会の公共交通対策委員会の委員を務めているが、このような大きな会議の委員は初めてであるため、林監事にも教えてもらいながら、監事を務めていきたい。
事務局	<p style="text-align: center;">【議題2】河内長野市地域公共交通会議について</p> <p style="text-align: center;">（事務局より説明）</p>
	<p style="text-align: center;">【議題3】「平成28年度各コミュニティバス等（モックルコミュニティバス、日野・滝畑コミュニティバス、楠ヶ丘地域乗合タクシー）」の利用状況について</p>

	(各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり)
仲村委員	<ul style="list-style-type: none"> ➢ バスマップに載っている路線図について、千代田線とモックルコミュニティバス、日野・滝畑コミュニティバスがどこを走っているのかわからない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 千代田線は、河内長野駅前から伸びている赤色の線である。モックルコミュニティバスについては、濃い緑色の線である。そのため、千代田線とモックルコミュニティバスは一部の区間で並走している。日野・滝畑コミュニティバスについては、水色の線であり、日野、滝畑地域を通過して、滝畑ダムへ向かっている。奥河内くろまろの郷へは、くろまろの郷が開店している時間に併せて一部の便で通るようにしている。
仲村委員	<ul style="list-style-type: none"> ➢ バスマップの路線図について、バスがどのように走っているのかわかりづらい。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 貴重なご意見として、参考にさせていただきたい。
	【議題4】平成30年度生活交通確保維持改善計画(フィーダー)認定申請について
	(事務局より資料4について説明)
事務局	(各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり)
藤谷氏 (大阪府)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 資料4の路線図で、天野山線1がどれかは分かるが、カラーのバスマップの路線のどれがフィーダー路線なのかわからない。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ➢ カラーのバスマップについては、市内の路線図が全て載っている。資料4の路線図には、フィーダーのみが記載されている。
藤谷氏 (大阪府)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ では、市内の他の路線がなぜフィーダーから外されているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ➢ フィーダー認定されるには、いくつかの要件がある。例えば、地域間幹線系統である天野山線1に接続し、また赤字路線となっているなどである。 ➢ 今後の国への申請手続段階での字句等、軽微な修正については事務局一任の承認を得る。
	【議題5】その他の案件について
事務局	(事務局より資料5について説明)

(各委員及び事務局の主な発言内容は以下のとおり)

日野副会長

- 議題4は、生活路線の維持で、国の補助事業を活用し、現在の資産であるバス路線を維持していこうという考え方である。本市のあり方を実現していくために、モックルコミュニティバス上限200円運賃の試行など公共交通が使いやすくなると使ってくれる人が増える。利便性を改善しながら、利用タイプ、利用者数を増加させ、新しいバスの利用者を増やすことが大切である。同伴者割引、フリー乗降など、団地の高齢化が進む中で導入された。同伴者割引は、利用者数が減る中で、1人で出かけるのではなく、どうせなら2人で出かけて欲しい、そうすることで利用者数が増加するという導入された。本当は平日で実施していきたいが、まずは利用者数が少ない日曜日に試行している。収入は減るが、利用者数が増えることでその分の収入を増やしていったらよい。くすまるが運行している楠ヶ丘地域については、交通の先進地であり、事務局で市内の他の地域に対して同じような取り組みが出来ないか投げかけをしている。ただ、まだ他の地域は運行までの段階にはいってない。将来どうあるべきか、それをするには何をすべきかを検討している。とりあえず、何かやってみましょうとかではなくて、まちづくりの観点から、なにをやったら良いか考えたらいい。他のデマンドの地域について紹介はあったが、その後はどうなったのか、特に同規模の自治体について勉強していったら良い。それについて議論し、その中で、やれば良いものについてはやっていけば良い。地域公共交通会議はどうあるべきか、何をしたいかを理解して頂いたうえで、それぞれの立場の意見を発言して欲しい。

榎井会長

- 楠ヶ丘地域のくすまるについて、去年で5周年を迎えた。去年の5周年イベントに私も行かせてもらったが、皆、熱い思いをもっており、それを知った当時の担当者も泣いていた。くるまるについても、ここでまた話していただけたらなと思っている。南青葉台のフリー乗降についても、運転手さんには御苦労をかけているが、交通会議に南海バス(株)さんにも入って頂いているので、ご意見頂けたらと思っている。

日野副会長

- 今後は、鉄道についても話をしていただけたら良いと思う。東京は後から私鉄が出来たが、大阪は最初から私鉄があった。そこにどうシームレスさせていくかが課題である。ヨーロッパのように運輸連合を作っていくなど、いずれ対策が必要である。国単位で対策していく話だが、前向きな話として、このような議論をしていくことでこの会議も活性化していくと思う。

事務局

- 次回は10月を予定している。今年度、形成計画の改訂を予定しており、中間報告を9月に予定している。その際、各委員に意見を貰おうと考えている。

榎井会長

- 本日は慎重なご議論いただきありがとうございました。

以上

第36回河内長野市地域公共交通会議委員名簿

平成29年6月28日(水)午後3時～ 河内長野市役所802会議室

	氏名	所属・役職	代理出席
会長	榎井 繁春	河内長野市 副市長	
副会長	日野 泰雄	大阪市立大学 名誉教授	
委員	伊勢 昇	和歌山工業高等専門学校 環境都市工学科 准教授	
委員	湯川 義彦	国土交通省 近畿運輸局 大阪運輸支局 総務企画部門 首席運輸企画専門官	
委員	田内 文雄	国土交通省 近畿運輸局 大阪運輸支局 輸送部門 首席運輸企画専門官	
委員	植澤 徹也	大阪府 都市整備部 交通道路室 都市交通課 公共交通計画グループ 課長補佐	藤谷統括主査
委員	白井 康之	大阪府 富田林土木事務所 地域防災担当参事兼地域支援・企画課長	
委員	井元 正和	大阪府 河内長野警察署 交通課 課長代理	
委員	秋元 克之	南海バス株式会社 企画部 企画課長	
委員	松内 祐二	南海バス株式会社 営業部次長 兼 営業課長	
委員	坂本 頼幸	南海バス株式会社 労働組合代表	
監事	林 邦昭	大阪第一交通株式会社 河内長野営業所長	
委員	小谷 和也	近鉄タクシー株式会社 業務部長	
委員	小出 泰弘	南海電気鉄道株式会社 鉄道営業本部 統括部 課長	西村課長補佐
委員	森本 治実	近畿日本鉄道株式会社 総合企画本部 計画部 課長兼鉄道本部 企画統括部 営業企画部 課長	
委員	山田 昭儀	河内長野市老人クラブ連合会 会長	
委員	上野 修二	河内長野市観光協会 会長	
委員	若林 勝美	河内長野市商工会理事	
委員	仲村 義郎	市民公募	
監事	甲斐 由紀	市民公募	
委員	洞淵 元秀	河内長野市保健福祉部長	
委員	太口 智裕	河内長野市環境経済部長	
委員	梅谷 武博	河内長野市都市づくり部長	
委員	小西 昌敏	河内長野市総務部長	
委員	小林 章良	河内長野市総合政策部長	